

### 公立保育園2園を拠点とした理由

#### 1 小金井市における教育・保育提供区域が1区域であること

小金井市は、4km四方とコンパクトなまちで、比較的移動が容易なことが特徴です。利用者の通勤等の実態を踏まえた動線を考慮しつつ、市内全体の広域的な観点で効率的な施設整備を図れ、一時的な需要の増減に対して柔軟な対応が可能であることから、市内全域を1区域としています。

#### 2 拠点としての配置状況

小金井市は保育ニーズの地域的偏在がないことや、保育園利用者の通勤の状況を見た場合、JR中央線の2駅（武蔵小金井駅、東小金井駅）が市域の2つの中心となります。現在の公立保育園の拠点としての立地を勘案しました。

#### 3 施設規模・状況等

一時保育事業の実施状況、施設の規模、築年数等の現状などを勘案しました。

(参考)

公立5園各園についての民営化比較考量

1 公立保育園施設概況

(平成29年3月現在)

園名	くりのみ	わかたけ	小金井	さくら	けやき
定員	113人	112人	114人	113人	140人
築年月	S43年5月	S45年5月	S58年6月	S48年3月	H25年8月
敷地面積	1,801.89 m <sup>2</sup>	1,883.72 m <sup>2</sup>	1,330.94 m <sup>2</sup>	1,700.62 m <sup>2</sup>	2,258.08 m <sup>2</sup>
延床面積	769.04 m <sup>2</sup>	589.48 m <sup>2</sup>	969.51 m <sup>2</sup>	719.30 m <sup>2</sup>	1,619.57 m <sup>2</sup>
耐用年数	47年	47年	47年	47年	47年
経過年数	49年	47年	34年	44年	4年
耐震工事	済み	済み	対象外	済み	対象外
施設状況 (複合/単独)	単独	単独	複合	単独	複合
			(併設施設) ・集会施設 ・高齢者施設 ・消費者施設		(併設施設) ・児童発達支援センター
周辺環境	新小金井駅が至近にあり、通勤の利便性が高いが、中央線利用のためには武蔵境駅での乗換えが必要。	野川・国分寺崖線が至近にあり、自然環境が豊かである。	国家公務員住宅・本町住宅と武蔵小金井駅の間立地にあり、通勤の利便性が高い。上の原公園が至近にある。	国家公務員住宅北側に立地する。周辺に農地も多く、玉川上水が至近にあり、自然環境が豊かである。	東小金井駅が至近にあり、通勤の利便性が高い。東小金井駅北口土地区画整理事業計画地域内に立地する。
立地/交通アクセス	東町3丁目 新小金井駅至近 東小金井駅徒歩11分	前原町3丁目 武蔵小金井駅南口徒歩13分	本町5丁目 武蔵小金井駅北口徒歩6分	貫井北町3丁目 武蔵小金井駅北口徒歩23分	梶野町1丁目 東小金井駅北口から徒歩7分

## 2 比較考量結果

(平成29年3月現在)

園名	くりのみ	わかたけ	小金井	さくら	けやき
利便性	○	△	◎	△	◎
公立5園における園舎建替時期の優先度(築年数)	◎	◎	○	◎	△
建物更新・委譲時の柔軟性	○	○	△ (合築)	○	△ (合築)
地域拠点としての立地	○	○	◎	△	◎
自然環境(周辺環境)	○	◎	○	◎	○
サービス拡充の可能性	○	△	○	○	◎
保育の特徴	異年齢保育	異年齢保育	年齢別保育	異年齢保育	異年齢保育
			一時保育		一時保育
					障がい児定員が多い
利用希望(応募倍率)	4.9	7.5	11.0	4.8	9.9